

Sskp

**CHIBA DARC NEWSLETTER**



# Keep on Growing!

No.14-1

平成26年10月号 編集：千葉ダルク事務局  
千葉ダルク：千葉県千葉市中央区白旗3-16-7 ☎043-209-5564

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。このたびは、千葉ダルク ニュースレター「Keep on Growing！」の発行が遅くなり誠に申し訳ありませんでした。これまで千葉ダルクの活動に温かいご支援をして頂いている方々に大変ご迷惑をお掛けしました。職員の入れ替わりで引き継ぎもバタバタな状態やハウスのリフォームなどが重なり、また私の確認のミスにより遅れてしまいました。今後はこのようなことがないように気をつけます。

千葉ダルクにおいては、今年に入りおかげさまで千葉ダルク デイケアセンターのリフォームが完了しました。これもご支援、ご理解いただいている皆様のおかげです、職員一同深く感謝しております。今後も仲間のサポート等、新しく繋がる仲間を迎えまた、自分自身の回復と成長に努めたいと思います。

デイケア・ナイトケアのリフォームが終わり、新しく仲間も増え続けており職員含めて総勢43名になりました。千葉ダルクでも危険ドラッグ使用者の急激な増加や自立準備ホームの登録により新たな仲間が繋がり施設の雰囲気も以前とは変わりましたが利用者さんみんな元気にプログラムを行っています。就労プログラムを行っている仲間も増えてきています。また新たな職員も加わりました。次回のニュースレターの際に紹介しますので、よろしくお願ひします。

現在、千葉ダルクでは以前にも増して国や地方自治体、また地域の様々な活動に積極的に参加しております。ダルクのような当事者活動にしか出来ないこともあります。今後も様々な活動に参加し関係を築き上げていければなと思います。またここ最近の薬物乱用問題関連がメディアに徐々に出来て周りからも良い意味でも、悪い意味でも認知されてきました。

最後になりますが、毎回のお願いで恐縮なのですが、千葉ダルクの修繕や車両の購入などで千葉ダルクは相変わらず火の車です。最近になり利用者が増え始めたこともあり、ハウスの方もだいぶ老朽化が進んでいます。この先も新しく仲間を迎えるため、心地よくプログラムを行っていくためにリフォームなども検討しています。今後は九十九里ハウスの一斉リフォームも考えております（強い雨が続いたせいか天井などから雨漏りがありました）。また、今年は車両の車検などが立て続けに重なり、大変苦しいところです。どうか皆様、暖かくご支援の程宜しくお願ひいたします。

千葉ダルク

スタッフ 田畑 聰史



## 「ダルクでの変化」

タロウ

はじめまして、依存症のタロウです。僕はダルクに入寮する前は、彼女名義のアパートで暮らしながら酒と処方薬を中心とした生活を送っていました。処方薬に出会うまでも大麻、MDMA、マジックマッシュルーム、LSD、覚せい剤、危険ドラッグ等にもハマっていて自分にはシラフの人生は向いていないし、無理だなーと思っていました。

結果として胃潰瘍になり、そこから不眠症に陥って処方薬の服用が始まりました。乱用に変わるまでは、1日もかかりませんでした。不眠の治療を言い訳にして仕事はしなくて、医者には処方薬を出来る限界まで出してもらいました。そこに飲酒も加わり、雲行きが悪くなっていました。ブラックアウトする回数が多くなり、彼女以外の女性にも手を出して、その女性たちからお金を引っ張り口論になった相手に暴力をふるう…。最悪だったのは、ブラックアウトしている時に彼女と父親にも手を上げてしまったことです。気が付けば祖母の家に軟禁状態になっていて、ズボンのポケットの中には半分になったMDMAと処方薬のデパスが2シートだけありました。財布の中身は抜かれていて何が起きたのか父親に聞くまでは混乱していました。事態は把握しましたが彼女や父親のこと、自分がこれからどうなるのかといったことよりも

「薬をどうやって調達しようか」と、薬のことばかり考えていました。祖母の家では離脱症状のひどい中、1人でゲームばかりしていました。1ヶ月程経っても薬の欲求は当然有りましたが、身体のほうの離脱は大分マシになったある日に父親が訪ねて来て「お前は今日からダルクに行け」と僕に言いました。どうやら薬中の人達がリハビリをする所に僕を連れて行くことが決まったようでした。面倒臭かったけど問題を起こしてしまった手前、とにかく行ってみようと思い千葉ダルクの代表と面談して今現在生活させてもらっている九十九里ハウスに入寮することになりました。本当は精神病院で12週間のプログラムを終えて帰る予定でしたが、病院のベッドに空きが出来るまでの2週間を九十九里ハウスの仲間たちと過ごし、その中で不思議なことを考えました。「薬は本当に大好きだけど、僕が薬を使うと嫌なことばかり起こる。もしかして使う才能が無いのかな?」。

僕は九十九里ハウスでプログラムを受けさせてもらうことになりました。ダルクでの生活も1年4ヶ月が経ち、現在は一番やりたくない先延ばしにしてきた、就労プログラムの真っ最中です。

この体験談を書く機会をくれた仲間、一緒にエイサーを踊ってくれる仲間、自助グループの仲間、わがままな僕と寝食を共にしてくれる仲間、職場の仲間…僕と一緒にいてくれてありがとうございます。僕達の心に安らぎが訪れますように。

ピース！！

## 「過去の自分と今の自分」

Sun

皆様、初めましてアディクトの Sun です。自分は、アルコールと薬物に問題が有り、今まで今までいろんなものを失ってきました。アルコール、マリファナは小学時代で覚えて、高校の時にエクスタシーやほかの薬物を使い始めていました。やっぱりその時は若くて楽しいのを優先してまわりの事もみえていませんでしたね！！

20代になると、仕事に集中するようになり 24才の時に結婚して仕事も、もっと頑張るようになるのですが！！20代の後半になると仕事も安定てきて経済的にも安定していくうちにまた、昔の楽しさを求める自分の遊び癖（病気）が出てきました。アルコールも飲食店に勤めていた為、毎日お客様や友人や同業者と飲み歩き、しまいには仕事が休みの日も飲みに行くようになりました。家もただ寝に帰るだけの生活になり、お嫁さんの話も聞かず自己中心的な考え方を通すようになりました。また、仕事の面でも自己中心的で有頂天な自分は遊び感覚になり、自由気ままに勤めて、しまいには自分で独立出来ると勘違いして、会社も辞めてしまい、いざ独立と考えて行動にうつしていかないといけないのに、時すでに遅くアルコールが止めることができなくなっていました。それからですね、自分が 31才の時、病院で肝硬変と診断を受けました。それでも自分の中では、どうにかなるだろうと馬鹿げた考えを持っていました。心配してくれるお嫁さん、親、兄弟、友人達の話も耳から聞いて流すだけでした。しまいには入退院をする度にヤケになり離婚をして、それからは親や兄弟に無理やりアルコール病棟に連れて行かれ、計 3 回も入院しました。自己憐憫、孤独感、自分がまいたタネなのにまるで悲劇のヒーローみたいな感じで自分自身を落としいれる自分でした。それから兄弟の勧めで今の施設（千葉ダルク）に入寮することになりました。最初の頃はまだアディクトと認めていない自分がいました…が！！仲間と生活をともにするようになり、ようやく気がつくことが出来ました。

今年 36才、何年間アルコールや薬物にお金をつぎ込んだかもわかりません。それ以上にお金では買えない時間や信頼関係を失ったことは今でも悔やみますが、変えられないものは変えられないと今では考えられるように出来るようになったのも今いる仲間（アディクト）達と出会えたからと思います。現在、一年二ヶ月を迎える就労のプログラムをこれから取り組みますが、焦らないように、自分の体調もみながら 1 日 1 日を大切にして自立していこうと頑張っています。



## 千葉菜の花家族会

薬物依存症者を抱え、悩み、絶望の底にいた私たち。同じ悩みを抱える仲間として支え合い、道のりは遠くてもゆっくり回復し、笑顔を取り戻すための場所ができました。

一人でも多くのご家族・関係機関の方の参加をお待ちしております。

千葉菜の花家族会 会長 くろかわななこ

例会日時：毎月第二水曜日 午後1：00から午後5：00まで（祝休日でも開催）

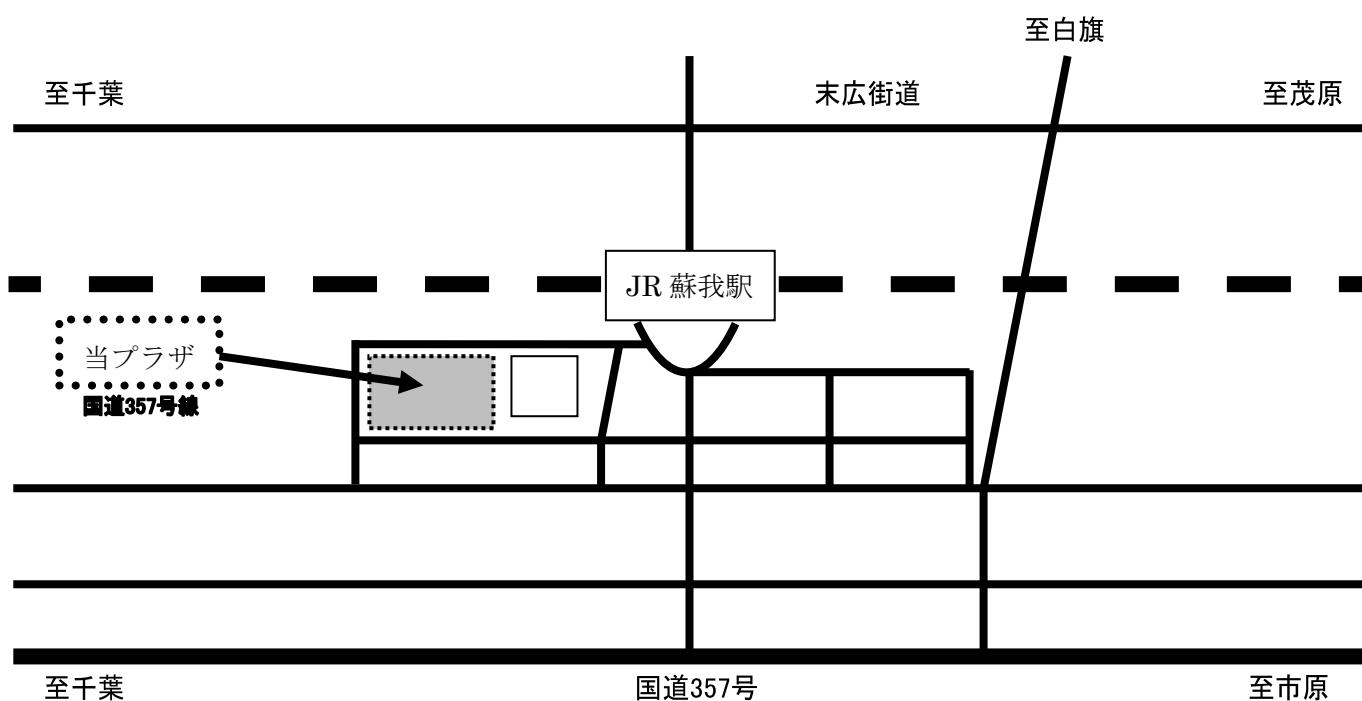
会場：千葉市蘇我勤労市民プラザ 会議室など

対象者：薬物依存症者の家族や友人、薬物依存問題に関する機関職員  
(薬物依存症者本人の参加はご遠慮頂きます)

月会費：例会会場でお申し込みの際、一家族（グループ）1,000円を頂きます。

内容：・関係各機関ゲストからのメッセージ  
・家族のミーティング

※ JR 蘇我駅西口より徒歩5分



# 千葉ダルク活動報告

Drug Addiction Rehabilitation Center  
**DARC**

## ＜平成26年1月～10月の活動＞

JFSA チャリティーバザーにてエイサー演舞  
大里総合管理にてエイサー演舞  
若葉、畠町、幕張、稻毛ケアセンターそよ風にてエイサー演舞  
スルガダルクと合同キャンプ  
木更津工業専門学校にて講演  
敬愛学園高校にて講演  
秋元病院へメッセージ  
国立下総精神医療センター家族教室へメッセージ  
国立下総精神医療センターへメッセージ（毎月第二・第四火曜日）  
八街少年院へメッセージ（毎月第二・第四水曜日）  
千葉菜の花家族会ビギナーズミーティングに参加（毎月第二水曜日）  
JFSA 洋服選別作業ボランティア（毎週金曜日）  
2HJ フードバンク（毎月第四・第五金曜日）  
大網白里にて農業プログラム（毎週月曜日）  
千葉県精神保健福祉センターに非常勤職員として相談業務（毎週第二・第四水曜日）  
千葉保護観察所主催 身元引受人会に参加  
千葉保護観察所主催 第1回地域支援連絡協議会に出席  
法務省 社会を明るくする運動：おかえりフェスティバルにてエイサー演舞  
習志野市社会福祉協議会にて講演  
千葉大学「実践社会学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム」にて講演  
千葉市中央地区保護司会にて講演  
千葉県教育委員会主催「薬物乱用防止教育研修会」にて講演・エイサー演舞  
条件反射制御法 学術研修会にて講演  
JRCNA 東京2014に参加

## ＜平成26年10月度以降の活動予定＞

千葉保護観察所  
国立下総精神医療センターへメッセージ（毎月第二・第四火曜日）  
八街少年院へメッセージ（毎月第二・第四水曜日）  
千葉県精神保健福祉センターに非常勤職員として相談業務（毎週第二・第四水曜日）  
千葉菜の花家族会ビギナーズミーティングに参加予定（毎月第二水曜日）  
大網白里にて農業プログラム（毎週月曜日）

## 千葉ダルクへの献金・献品のご協力ありがとうございました

### 平成26年1月～10月度支援して下さった方々

- ・黒川奈菜子 　・千葉菜の花家族会 　・市川まり子 　・山本みち子
- ・加藤輝男 　・国分智行 　・伊師嗣迪 　・石毛敬一 　・志村紀子
- ・ハンズオン 菊地 　・古山陽子 　・十河利幸 　・小原司郎

その他多数の匿名の方々（順不同 敬称略）

いつも皆様方には温かいご支援を頂き、誠に感謝しております。毎回お願いばかりで心苦しいのですが、引き続きご支援の方（石鹼・シャンプー・洗剤・毛布・ご家庭で使わなくなった、まだ使えるけど不要なものの掃除機等…）の献品・献金のご協力を宜しくお願ひ致します。

便宜上すべてのニュースレターに献金の為の郵便振り替え用紙を同封していますが、これは強制ではありません。また「匿名希望」の方はその旨を通信欄にその都度お書き下さるようお願いいたします。皆様の献金を心よりお待ちしております。

#### 発行所

〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

※ 近い将来、千葉ダルクも法人化が必要になってくる可能性もあり、その準備のために本格的な会計の仕事を手伝ってくださる方、ご連絡下さい。宜しくお願ひ致します。

#### ※お問い合わせ

##### ○千葉ダルク・ティケアセンター

〒260-0841 千葉県千葉市中央区白旗3-16-7

TEL 043-209-5564 FAX 043-209-5565

e-mail: [darc-32@the@cnc.jp](mailto:darc-32@the@cnc.jp)

ホームページ: <http://chiba-darc.net/>

##### ○九十九里ハウス

〒299-4347 千葉県長生郡長生村小泉1310

TEL (0475)32-6863 [FAX 兼用]

##### ○南房総ハウス

〒294-0051 千葉県館山市正木562-11

TEL(0470)27-3693 [FAX 兼用]

